

Q11.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A11.

現在のところ、本剤との直接の相互作用は報告されていません。

5.7 一般名：塩酸バラシクロビル、商品名：バルトレックス

Q1.

PTPシートから出して、錠剤のまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤の安定性試験の結果から著しく逸脱した環境でないならば、1週間程度の放置では、品質は変化しないと推定できます。40℃、75%相対湿度、暗所の条件下で6ヶ月保存後、外観が微黄色に変化し、類縁物質が約0.8%増加。含量の低下（約1%）および乾燥減量値の増加、硬度の低下を認めたとするデータがあります。

Q2.

錠剤を砕いて飲んでもよいでしょうか？

A2.

主薬が相当の苦みを有するためフィルムコート錠にしています。砕いて飲むと苦みを感じることもあり、また砕いて服用した時の吸収などに関して検討したデータがないのでおすすめできません。

有効成分の安定性試験の結果より、ガラス瓶（開栓）保存において、40℃で75%相対湿度、暗所の条件下で、6ヶ月後に変化なしとのデータがあります。

Q3.

1日3回で服用しています。朝の分を飲み忘れしました。どうすれば良いでしょうか？

A3.

気がついた時点で1回分を服用してください。ただし次の服用時間が近い場合には、1回とばして次回より通常通り服用してください。2回分を1度に服用しないでください。

Q4.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A4.

食事の影響は少ないと考えられます。また避けなければならない食べ物や飲み物について、現在のところ特に報告はありません。

Q5.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に中止しなければいけない飲み物を教えてください。

A5.

お茶と一緒に飲むてはいけないというデータはありませんが、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用して下さい。また、ひかえた方がよい飲み物は、現在のところ特に報告がありません。

(注：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q6.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいのでしょうか？

A6.

もどした場合、再度服用することは避けてください。次に飲む予定時刻までに気分が戻ったら、服用する努力をしてください。ただし次の服用時間が近い場合は、1回とばして次回より通常通り服用してください。2回分を1度に服用しないでください。

Q7.

食後薬を飲んだ後にお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないのでしょうか？

A7.

特に影響はないと考えられます。

Q8.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいのでしょうか？

A8.

市販の風邪薬との相互作用で問題となる報告は、現在のところありません。

しかし、医師が処方する薬の中には併用を注意することとされている薬剤があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q9.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A9.

服用をはじめてから発疹が出た場合は、本剤による過敏症の可能性がありますが、早めに主治医に連絡し、服用を中止するべきかどうか指示を受けてください。

また、過去に本剤で発疹等の経験がある方は、主治医にその旨を伝えてください。本剤は体内で代謝されアシクロビル（商品名：ゾビラックスなど）になって効果を発現する薬剤です。過去にアシクロビル（商品名：ゾビラックスなど）による発疹等の経験がある方も同様です。主治医にその旨を伝えてください。

Q10.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A10.

現在のところ、本剤との直接の相互作用は報告されていません。

5.8 一般名：ガンシクロビル、商品名：デノシン

Q1.

ガラス瓶から出して、カプセルのまま1週間部屋に置いてありました。飲んで大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤の安定性試験の結果から著しく逸脱した環境でないならば、1週間程度の放置では、品質は変化しないと推定できます。本剤の開放状態下での安定性試験(40℃/75%相対湿度：3ヶ月間、25℃/2000ルクス：144万ルクス/時間)で、性状、含量、崩壊試験、溶出試験等に問題はなかったとするデータがあります。

Q2.

カプセルをはずして飲んでよいでしょうか？

A2.

本剤はカプセルの剤形で有効性・安全性等が検討されています。カプセルをはずして(脱カプセル)投与した場合の有効性・安全性等は検討していません。

有効成分の安定性試験の結果より、メノウ鉢で粉末とした後の開放状態下での安定性試験(室温/湿度：なりゆき)で、外観、純度試験、含量にほとんど変化は認められませんでした。重量において1~2週間後に約1.40~01.39%の増加が認められたとするデータがあります。

Q3.

1回4カプセルを1日3回服用しています。朝の分を飲み忘れしました。

どうすればよいでしょうか？

A3.

気がついた時、出来るだけ早く1回分を飲んでください。但し、次の服用は3~5時間以上の間隔をあけて服用してください。2回分を一度に飲まないでください。

Q4.

食事の影響はありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や飲み物を教えてください。

A4.

食後あるいは食直後に服用してください。

空腹時と食後(602Kcal、脂肪分を46.5%含む食事)投与を比較した試験において、Tmax(最高血中濃度到達時間)は1.8hrから3.0hrに延長し、平均血中濃度、AUC(血中薬物濃度下面積)、Cmax(最高血中濃度)についても、それぞれ約22.0%、22.0%、15.0%の増加が観察され、食後に服用した方が吸収がよいとの結果があります。

なお、現在のところ、一緒に食べてはいけない食べ物や飲み物に関するデータは特にありません。

Q5.

お茶と一緒に飲んでよいですか？また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A5.

お茶を含め、一緒に飲むことに注意を要すると思われる飲み物は今のところ特にありません。できればコップ一杯程度の水あるいはぬるま湯での服用をおすすめします。

(注：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水(生水)ではなく、白湯

(さゆ) もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q6.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすれば良いでしょうか？

A6.

もどした場合、再度服用することは避けましょう。吐いた後、次の服用予定時刻までに気分がもどったら、服用する努力をして下さい。すこし多めの水などで服用すると、吐き気が軽くなることがあります。

Q7.

食後に薬を飲んだ後、お菓子等を食べても薬の効き目は変わらないでしょうか？

A7.

詳しいデータはありませんが、特に影響はないと考えられます。

Q8.

市販の風邪薬を買って飲んででもいいでしょうか？

A8.

市販の風邪薬との相互作用で問題となる報告は、現在のところありません。

また、市販薬ではありませんが、医師が処方する薬の中に、本剤との併用には注意することとされている薬剤があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q9.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるでしょうか？

A9.

本剤の服用後に発疹等の症状が発現した場合、本剤による過敏症の可能性が考えられます。そのまま服用を続けることは、さらに悪化することもあり、まれには生命等に係わる重大な事態になる場合もありますので、早めに主治医に連絡し、指示を受けてください。国内のデータではありませんが、海外における開発データで発疹の副作用発現率は4.0% (804例中32例) でした。

Q10.

薬を飲んだ後、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A10.

現在のところ、本剤との直接の相互作用は報告されていませんが、本剤投与と飲酒を同時に行うことは、予期しない副作用等が発現する可能性が考えられますので、おすすめできません。

5.9 一般名：クラリスロマイシン、商品名：クラリシッド、クラリス

Q1.

PTPシートから出して、錠剤のまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

本品の安定性試験の結果より、無色透明ガラス瓶（開栓）保存において、40℃で6ヶ月、50℃で3ヶ月、40℃・湿度75%で6ヶ月、無色透明ガラスシャーレ（開放）保存において、光照射（蛍光灯100ルクス）で3ヶ月は安定でした。よって通常的环境下であれば品質は変化しないと考えられます。ただし、さらに高温、多湿等の悪条件で外観上明らかな変化が認められた場合、服用はおやめ下さい。

Q2.

錠剤を砕いて飲んでも良いでしょうか？

A2.

有効成分の安定性試験の結果より、無色透明ガラス瓶（開栓）保存において、40℃で6ヶ月、50℃で3ヶ月、40℃・湿度75%および40℃・湿度90%で6ヶ月、無色透明ガラスシャーレ（開放）保存において、光照射（蛍光灯100ルクス）で3ヶ月、太陽光で30日は安定でした。粉砕して服用すると苦味がでることが予想されます。また、粉砕した薬剤の体内での吸収等を検討したデータはありません。

Q3.

1日2回で服用しています。朝の分を飲み忘れしました。どうすれば良いでしょうか？

A3.

気がついた時点でお飲みください。しかし、気がついた時、次に飲む時間が近い場合は服用しないでください。その際、夕方に服用する場合2回分を一度に飲まないで、通常どおり1回分を服用してください。

Q4.

1日2回、朝夕で飲んでいますが。夕の分を昼に飲んでしまいました。どうすればいいでしょうか？

A4.

その日の夕方の分は服用しないでください。翌日からはこれまでどおり、指示された時間にお飲みください。もしなにか、普段と違う症状が現れた場合は医師・薬剤師にご相談ください。

Q5.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A5.

食事の影響は少ないと考えられます。また避けなければならない食べ物や飲み物について、現在のところ特に報告はありません。

Q6.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A6.

特に問題はありません。しかし、オレンジジュースやグレープフルーツジュースなどの酸味のある果汁で飲むと、苦味を感じる場合がありますので、水やお茶で服用してください。

(注：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q7.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいのでしょうか？

A7.

もどした場合、再度服用することは避けましょう。次に飲む時刻までに気分が戻ったら服用する努力をしてください。吐き気が強い場合は医師・薬剤師にご相談ください。

Q8.

食後薬を飲んだ後にお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないのでしょうか？

A8.

お菓子等を食べて薬の効き目が弱くなるなどの情報は、いまのところ報告されていません。

Q9.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいのでしょうか？

A9.

現在のところ市販薬との間に、特に相互作用の報告はありませんが、普段と何か違う症状が現れたら医師・薬剤師にご相談下さい。また、医師が処方する薬の中に、本剤との併用には注意することとされている薬剤があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q10.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A10.

服用を開始して発疹が出現した場合は、早めに主治医に連絡して下さい。

重篤で生命に危険を及ぼすような発疹が出現する可能性もあります。発熱、頭痛、全身がだるいなど全身症状を伴うような発疹の場合は、特に注意が必要です。

また、過去に本剤で発疹等の経験がある方は、主治医にその旨を伝えてください。本剤はマクロライド系の抗生物質です。過去にマクロライド系の抗生物質で発疹等の経験がある方も同様です。主治医にその旨を伝えてください。

Q11.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A11.

現在のところ、本剤との直接の相互作用は報告されていません。

5.10 一般名：スルファメトキサゾール・トリメプリーム、商品名：バクタ、バクタミン等

Q1.

PTPシートから出して、錠剤のまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか。

A1.

においてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤および原薬の安定性試験の結果から、著しく逸脱した環境でなければ、1週間程度の放置では、品質は変化しないと考えられます。本品を37℃・80%相対湿度下で6ヶ月保存後、変化を認めなかったとする報告があります。また、シャーレ(開放)上、20℃、白色光(50000ルクス)の条件下で、50時間後に錠剤は微黄褐色になったものの、薬剤の含有量に変化はなかったとする報告もありますが、念のため、色が変わった薬は飲まないでください。

Q2.

錠剤を砕いて飲んでも良いのでしょうか。

A2.

原薬のスルファメトキサゾールを40℃・80%相対湿度下、遮光下で3ヶ月シャーレ上に放置し、外観・含量に変化を認めなかったとする報告があります。また、配合剤のトリメプリームを40℃・75%相対湿度下、遮光下で20ヶ月保存し、外観・含量に変化を認めなかったとする報告もありますが、薬剤はその剤型で有効性及び安全性が検討されています。錠剤を砕くと苦みが出ます。錠剤が飲みにくい時は、半分に割って飲むことも可能です。本剤は顆粒の製剤もあります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q3.

1日1回で服用しています。朝の分を飲み忘れしました。どうすれば良いのでしょうか。

A3.

飲み忘れに気がついたときに、1回分を服用してください。本剤を1日1回で服用する主な目的は、感染の予防です。寝る前にその日の朝の分の飲み忘れに気づいたとき、その日の朝の1回分を服用して、さらに翌朝、通常通り1回分を服用しても、副作用等について特に問題はありません。

Q4.

1日2回、朝夕で飲んでいますが。夕の分を昼に飲んでしまいました。どうすればいいのでしょうか。

A4.

その日の夕方は服用しないで下さい。翌日からはこれまでどおり、指示された時間に服用して下さい。

Q5.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A5.

特に一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物はありません。本剤は食直後の服薬に比べ、空腹時に服用した方が吸収はよいとされていますが、治療効果への影響は変わりません。この薬を空腹時に飲むと、胃腸症状(悪心・嘔気等)が出やすくなることがあります。できるだけ食後に飲むことをお勧めいたします。

Q6.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A6.

お茶と一緒に飲んでも問題はありません。現在のところ特に注意しなければいけない飲みものの情報はありますが、胃への負担を軽くするため、コップ一杯程度の水で飲むことをお奨めいたします。

(注：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q7.

服用後、吐いてももどしてしまいました。どうすればよいのでしょうか？

A7.

もどした場合、無理に飲むのは避けましょう。吐いたあと、次に飲むまでに気分がもどったら、通常どおり飲んでください。続けて吐いたり、飲んだあと気分が悪くなった時は、医師・薬剤師に相談してください。

Q8.

食後薬を飲んだ後にお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないでしょうか？

A8.

お菓子等を食べて薬の効き目が弱くなるとの情報は、いまのところ報告されていません。

Q9.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいのでしょうか？

A9.

現在のところ市販薬との間に、特に相互作用の報告はありませんが、普段と何か違う症状が現れたら、医師・薬剤師にご相談下さい。

また、市販薬ではありませんが、医師が処方する薬の中に、本剤との併用には注意することとされている薬剤があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q10.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A10.

理由は不明ですが、HIV感染症の患者さんが本剤の服用を開始すると、他の疾患の患者さんに比べ、発疹等の副作用の発現頻度が比較的高く現れることが知られています。重篤で致死的な皮膚症状の現れる可能性もあります。多くの場合、発疹は服用開始後7日目から14日目の間に現れます。発疹が出現した場合は、すぐに主治医に連絡して下さい。

また、過去に本剤で発疹等の経験がある方は、主治医にその旨を伝えてください。本剤はサルファ剤含有の製剤です。過去にサルファ剤による発疹等の経験がある方も同様です。主治医にその旨を伝えてください。

Q11.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A11.

現在のところ、本剤とお酒との直接の相互作用は報告されていませんが、本剤を使用するときは、肝機能障害に注意することとされていますので、おすすめできません。

6.11 一般名：ピラジナミド、商品名：ピラマイド

Q1.

粉薬の袋を破いた状態で、1日放っておきました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

この薬は室温条件で吸湿しにくく、光にも安定です。通常の室内の環境であれば、1日間程度は問題ないと思われます。しかし、おいてあった環境にも左右されるので、開封のまま放置するのは避けて下さい。

Q2.

1日1回朝食後に服用しています。朝の分を飲み忘れました。どうすれば良いでしょうか？

A2.

朝の飲み忘れを昼に気づいた時は、その時点で服用して下さい。気づいた時が夕方等、次に飲む時間が近い場合は服用しないで下さい。その翌日から朝食後にいつも通り服用して下さい。その際の服用量は、決して2回分を一度に飲まないで、通常通り1回分を服用してください。

Q3.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えて下さい。

A3.

食事による影響はほとんどないと考えられます。特に避けるべき食べ物について現在のところ情報はありません。

Q4.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければならない飲み物を教えて下さい。

A4.

お茶と一緒に飲むことを控えるべきとのデータはありませんが、コップ1杯程度の水またはぬるま湯と一緒に飲んでください。

(註：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q5.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいでしょうか？

A5.

もどした場合、再度服用することは避けましょう。次に飲む予定時刻までに気分がもどったら、服用する努力をして下さい。多めの水で服用すると、吐き気が軽くなることがあります。試してみてください。

Q6.

食後薬を飲んだ後にお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないでしょうか？

A6.

特に問題はないと思われます。

Q7.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいでしょうか？

A7.

市販の風邪薬との相互作用で問題となる報告は、現在のところありません。

しかし、肝障害を起こしやすい薬剤との併用に注意することとされています。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q8.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるでしょうか？

A8.

服用をはじめてから発疹が出た場合は、本剤による過敏症の可能性がありますが、早めに主治医に連絡し、服用を中止するべきかどうか指示を受けてください。

Q9.

薬を飲んだ後、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A9.

現在のところ、本剤とお酒との直接の相互作用は報告されていませんが、本剤を使用するときは、肝機能障害に注意することとされていますので、おすすめできません。

Q10.

服用中はどのような副作用に注意すればいいでしょうか？

A10.

肝機能障害が現れることがあるので、気持ちが悪い、吐き気がする等の消化器症状や、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい、発熱等の症状があらわれた場合は、早めに主治医に報告してください。また、尿酸値が上昇することがあるので、指の付け根が痛い、関節が痛い等の症状が現れた場合は、早めに主治医に報告してください。

5.12 一般名：フルコナゾール、商品名：ジフルカン

Q1.

PTPシートから出して、カプセルのまま1週間部屋においてありました。飲んで大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤の安定性試験の結果から著しく逸脱した環境でないならば、1週間程度の放置では、品質は変化しないと推定できます。開栓透明ガラス瓶保存において、25℃、85%相対湿度の条件下で3ヶ月保存後、含量低下あるいは分解物の生成は認められなかったというデータがあります。

Q2.

カプセルをはずして飲んでもよいでしょうか？

A2.

主薬が苦みを有するためカプセルにしています。カプセルをはずして飲むと苦みを感じることがあります。また、カプセルをはずして飲んだ時の吸収などに関して検討したデータがないのでおすすめできません。

有効成分の安定性試験の結果より、原薬を40℃・75%相対湿度下で6ヶ月褐色バイアルに開栓状態で保存し、変化を認めなかったとする報告があります。

Q3.

1日1回で服用しています。朝の分を飲み忘れました。どうすれば良いのでしょうか？

A3.

飲み忘れに気がついたときに、1回分を服用してください。寝る前にその日の朝の分の飲み忘れに気づいたときは、その日の朝の1回分を服用して、さらに翌朝、通常通り1回分を服用して下さい。

Q4.

食事の影響がありますか？一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください？

A4.

食事の影響は認められていません。

Q5.

お茶と一緒に飲んでも良いのですか？また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください？

A5.

お茶と一緒に飲むではいけないというデータはありませんが、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用して下さい。また、ひかえた方がよい飲み物は、現在のところ特に報告がありません。

(註：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q6.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすれば良いのでしょうか？

A6.

もどした場合、再度服用することは避けてください。次に飲む予定時刻までに気分が戻ったら、服用する努力をしてください。ただし次の服用時間が近い場合は、1回とばして次回より通常通り服用してください。2回分を1度に服用しないでください。

Q7.

食後薬を飲んだ後にお菓子をたべても薬の効き目は変わらないのでしょうか？

A7.

特に影響はないと考えられます。

Q8.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいのでしょうか？

A8.

市販の風邪薬との相互作用で問題となる報告は、現在のところありません。

医師が処方する薬の中には併用してはならない薬剤（トリアゾラム等）や、併用に注意することとされている薬剤（アステミゾール、ワルファリン、タクロリムス水和物、シクロスポリン、フェニトイン、スルフォニル尿素系血糖降下薬、リトナビル、ミダゾラム、テオフィリン、経口避妊薬、ジドブジン、リファンピシン等）があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q9.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A9.

服用をはじめてから発疹が出た場合は、本剤による過敏症の可能性があります。早めに主治医に連絡し、服用を中止するべきかどうか指示を受けてください。

また、過去に本剤で発疹等の経験がある方は、主治医にその旨を伝えてください。

Q10.

薬を飲んだ後、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A10.

現在のところ、本剤との直接の相互作用は報告されていません。

5.13 一般名：リファンピシン、商品名：リファジン、リマクタン等

Q1.

PTPシートから出して、カプセルのまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤および原薬の安定性試験の結果から、著しく逸脱した環境でなければ、1週間程度の放置では、品質は変化しないと考えられます。本品をシャーレ（開放）上、25℃・75%相対湿度下で30日間保存後、変化を認めなかったとする報告があります。

Q2.

カプセルをはずして飲んでも良いのでしょうか？

A2.

原薬を40℃・75%相対湿度下で1ヶ月保存し、変化を認めなかったとする報告がありますが、薬剤はその剤型で有効性や安全性が検討されています。カプセルを外して中身を出すなどして形を変えると、効果が出なかったり、予期しない副作用が発現することがありますので、患者さん本人の判断でカプセルを外したりすることはおやめ下さい。

Q3.

1日1回で服用しています。朝の分を飲み忘れしました。どうすれば良いでしょうか？

A3.

飲み忘れに気がついたときに、1回分を服用してください。寝る前にその日の朝の分の飲み忘れに気づいたときは、1回分を服用してください。翌朝、通常通り1回分を服用しても、特に問題はありません。

Q4.

1日1回朝食前に服用しています。うっかりして食事をとってしまいました。朝の分の服薬はどうすれば良いでしょうか？食後に飲んでしまった場合についても、併せて教えてください。

A4.

本剤はその吸収を考えて、原則として朝食前に服用していただくお薬ですが、食後に服用されても、吸収に大きな差はありません。飲み忘れを防ぐために食後の方が飲みやすければ、食後に服用していただいても差し支えありません。

Q5.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A5.

食事による影響はほとんどないと考えられます。とくに避けるべき食べ物、飲み物について、現在のところ報告はありません。

Q6.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A6.

お茶と一緒に飲んでもいけないというデータはありませんが、コップ1杯程度の水またはぬるま湯で服用して下さい。また、ひかえた方がよい飲み物は、現在のところ特に報告がありません。
(註：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水（生水）ではなく、白湯（さゆ）もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q7.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいでしょうか？

A7.

もどした場合、再度服用することは避けてください。次に飲む予定時刻までに気分が戻ったら、服用する努力をしてください。ただし次の服用時間が近い場合は、1回とばして次回より通常通り服用してください。2回分を1度に服用しないでください。

Q8.

食後薬を飲んだ後のお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないでしょうか？

A8.

詳しいデータはありませんが、特に影響はないと考えられます。

Q9.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいでしょうか？

A9.

市販の風邪薬との相互作用で問題となる報告は、現在のところありません。

医師が処方する薬の中には併用してはならない薬剤（プロテアーゼ阻害剤）や、併用に注意することとされている薬剤（他の抗結核薬、黄体・卵胞ホルモン混合製剤や肝代謝酵素（P-450）によって代謝される薬剤）があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q10.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるのでしょうか？

A10.

服用をはじめてから発疹が出た場合は、本剤による過敏症の可能性がありますが、早めに主治医に連絡し、服用を中止すべきかどうか指示を受けてください。

また、過去に本剤で発疹等の経験がある方は、主治医にその旨を伝えてください。

Q11.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A11.

現在のところ、本剤とお酒との直接の相互作用は報告されていませんが、本剤を使用するときは、肝機能障害に注意することとされていますので、おすすめできません。

Q12.

このお薬を飲むと、おしっこが赤くなります。血尿が出ているのでしょうか？

A12.

本剤およびその代謝物によって、尿、糞、唾液、痰、汗、涙液が橙赤色に着色することが報告されています。血尿の可能性はほとんどないと考えられますが、何か異常があった場合、医師・薬剤師にご相談ください。また、ソフトコンタクトレンズが変色することも報告されています。

Q13.

服用中はどのような副作用に注意すればいいのでしょうか？

A13.

肝機能障害が現れることがあるので、気持ちが悪い、吐き気がする等の消化器症状や、皮膚や白目が黄色くなる、体がかゆい、発熱等の症状があらわれた場合は、早めに主治医に報告してください。

5.14 一般名：レボフロキサシン、商品名：クラビッド

Q1.

PTPシートから出して、錠剤のまま1週間部屋においてありました。飲んでも大丈夫ですか？

A1.

おいてあった部屋の温度や湿度等の条件にもよりますが、製剤および原薬の安定性試験の結果から、著しく逸脱した環境でなければ、1週間程度の放置では、品質は変化しないと考えられます。本品を

シャーレ(開放)上、25℃・75%相対湿度下で1ヶ月保存後、わずかに外観が変化した(白色→微黄白色)以外に変化を認めなかったとする報告があります。

Q2.

錠剤を砕いて飲んでも良いでしょうか？

A2.

砕いて服用した時の吸収などに関して検討したデータがないのでおすすめできません。

有効成分の安定性試験の結果より、シャーレ(開放)上、25℃・75%相対湿度下で30日間保存後、変化を認めなかったとするデータがあります。

Q3.

1日3回で服用しています。朝の分を飲み忘れました。どうすれば良いでしょうか？

A3.

気がついた時点で1回分を服用してください。ただし次の服用時間が近い場合には、1回とばして次回より通常通り服用してください。2回分を1度に服用しないでください。

Q4.

1日2回朝夕で飲んでいますが、夕の分を昼に飲んでしまいました。どうすればいいでしょうか？

A4.

その日の夕方の方は服用しないでください。翌日からはこれまでどおり、指示された時間にお飲みください。もしなにか、普段と違う症状が現れた場合は医師・薬剤師にご相談ください。

Q5.

食事の影響がありますか？ある場合は、一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物を教えてください。

A5.

健常成人での臨床試験から、本剤の吸収には食事の影響が若干認められましたが、特に問題となる差ではありませんでした。空腹時に飲まれても、食後に飲まれても特に問題はありません。また、現在のところ、特に一緒に食べてはいけない食べ物や、飲み物についての報告はありません。

Q6.

お茶と一緒に飲んでも良いですか？また、特に注意しなければいけない飲み物を教えてください。

A6.

お茶を含め、一緒に飲むことに注意を要すると思われる飲み物は今のところ特にありません。できればコップ一杯程度の水あるいはぬるま湯での服用をおすすめします。

(注：このQ&Aに登場する「水」という表現は、一般に使用される水道水(生水)ではなく、白湯(さゆ)もしくはミネラルウォーターを指しています。)

Q7.

服用後、吐いてもどしてしまいました。どうすればよいでしょうか？

A7.

もどした場合、再度服用することは避けましょう。吐いた後、次の服用予定時刻までに気分がもど

ったら、服用する努力をして下さい。すこし多めの水などで服用すると、吐き気が軽くなることがあります。

Q8.

食後薬を飲んだ後のお菓子等を食べても薬の効き目は変わらないでしょうか？

A8.

詳しいデータはありませんが、特に影響はないと考えられます。

Q9.

市販の風邪薬を買って飲んでもいいでしょうか？

A9.

市販の風邪薬に含まれるイブプロフェン等の消炎鎮痛剤との併用には注意することとされています。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。また、次の市販薬と同時に併用することによって、本剤と併用薬中の成分の一部が結合して、本剤の吸収が低下する可能性があります。同時に服用することは避けてください。同時服用を避ける薬剤は次の通りです。アルミニウム又はマグネシウム含有制酸剤を含む胃薬、鉄剤、カルシウム含有製剤。

医師が処方する薬の中にも市販薬と同様に併用に注意することとされている薬剤があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談下さい。

Q10.

発疹が出ました。服用を続けるうちにひいてくるでしょうか？

A10.

服用をはじめてから発疹が出た場合は、本剤による過敏症の可能性がありますが。早めに主治医に連絡し、服用を中止するべきかどうか指示を受けてください。

過去に本剤で発疹等の経験がある方は、主治医にその旨を伝えてください。また、本剤はオフロキサシン（商品名：タリビッドなど）の光学活性体です。過去にオフロキサシン（商品名：タリビッドなど）による発疹等の経験がある方も同様です。主治医にその旨を伝えてください。

Q11.

薬を飲んだあと、お酒を飲んでも大丈夫でしょうか？

A11.

現在のところ、本剤との直接の相互作用は報告されていません。

あとがき

抗HIV薬の飲み方や取り扱い方法は複雑です。説明を一度聞いただけで、完全に理解することは難しいと思います。長く飲み続けている間には、様々な場面に出会います。新たな疑問がわいてくることもあります。毎日毎日、完璧な服薬をしようと努力をしても、人は機械ではありません、毎日全く同じスケジュールで服薬を続けることは不可能です。

このQ&A集は、いつもと違う場面に出会ったときどうすればいいのか、新たな疑問を感じたときに紐解くと、ヒントを与えてくれると思います。

これからも、みなさまからのご意見をいただきながら版を重ね、より一層の充実をはかっていきたいと考えています。ご意見・ご希望は大阪医療センター薬剤科までお寄せ下さい。最後に、本Q&A作成にあたってご協力をいただきました患者さんや医療スタッフ・企業関係者の方々に感謝致します。

作成：栗原健 吉野宗宏 古金秀樹 白阪琢磨（国立病院機構大阪医療センター）

協力企業：

アステラス製薬㈱、アボット㈱、グラクソ・スミスクライン㈱、三共㈱、塩野義製薬㈱、第一製薬㈱、田辺製薬㈱、中外製薬㈱、鳥居薬品㈱、日本ベーリンガーインゲルハイム㈱、バイエル薬品㈱、万有製薬㈱、ファイザー㈱、ブリストル・マイヤーズ㈱、三菱ウェルファーマ㈱、ワイス㈱

(順不同)

抗HIV薬 Q & A Ver. 6.0

初版	第1刷	1999年	4月	1日発行
	第2刷	1999年	6月	1日発行
第2版	第1刷	2000年	4月	1日発行
第3版	第1刷	2001年	4月	1日発行
第4版	第1刷	2002年	3月31日	発行
第5版	第1刷	2004年	3月31日	発行
第6版	第1刷	2006年	6月	1日発行

編集：国立病院機構大阪医療センター

HIV/AIDS先端医療開発センター臨床研究部

発行：国立病院機構大阪医療センター

薬剤科、免疫感染症科、臨床研究部

非売品 * 無断複写・転載を禁じます。

資料2 クスリカード

クスリカード

2006.4



国立病院機構 大阪医療センター
薬剤科・免疫感染症科
臨床研究部

